

劇団若獅子

陽春公演

十年前に
取手の宿は
安孫子屋で
情を受けた
あの姐はんは
一目逢いてえ
逢ってお礼を
申してえ

長谷川 伸 / 作
田中 林輔 / 演出

一本刀土俵入

二幕五場

中嶋 正留 / 美術

市川亀治郎

舞踊 保 保
やすな 名

澤田正二郎立案に拠る
殺陣 田 村
たむら 村

題字 / 今川佳香

田中 林輔 / 監修

撮影 / 喜藤芳弘

〔特別出演〕

お蔭 / 市川亀治郎



駒形茂兵衛
笠原 章

南條 瑞江



横澤 祐一

〈参加〉



中條 響子



細川 智



真砂 皓太



浅井 弘二



中川 歩



水野 善之



桂 広行



御影 伸介



柴田 時江



新島 愛一朗



貴田 拳



根本 藍季絵



舞戸 礼子



功刀 明



市川 澤五郎



伊吹 謙太郎

劇団若獅子&市川亀治郎公演 in 岡山
岡山市民会館 大ホール

2011年 4月21日(木)

18時30分開演 (18時開場)

観劇料 S席:5,000円(指定席、当日 5,500円)
A席:4,000円(指定席、当日 4,500円)
B席:2,000円(自由席、当日 2,500円)

★チケットは「優先予約方式」で販売(申し込み方法は裏面参照)

■主催「おかやま・歌舞伎・観る会」

TEL 086-232-9714 FAX 086-232-5317

〒700-8544 岡山市北区大供 1-1-1 岡山市職労気付け

〔制作〕劇団若獅子 〔制作協力〕松竹株式会社

平成23年4月陽春公演日程

4月24日(日)	4月23日(土)	4月21日(木)	4月20日(水)	4月19日(火)	4月17日(日)	4月16日(土)	4月15日(金)	4月11日(月)	4月10日(日)	4月9日(土)
11時/3時30分	12時/4時	6時30分	2時	2時	11時/3時30分	11時/3時30分	2時	6時	2時	11時/3時30分
大阪サンケイホールブリーゼ	岡山岡山市民会館	香川アルファあなふきホール	三田市三田市総合文化センター	三田市三田市総合文化センター	東京浅草公会堂	島田市プラザおおるり	群馬前橋市民文化会館	名古屋御園座		

※日程に変更、もしくは追加公演がある場合は、ご了承下さい



舞踊 保名

撮影/長塚誠志

亀治郎 VS 若獅子



殺陣 田村

劇団若獅子事務所
TEL&FAX 03-3356-9875
〒160-0004 新宿区四谷4-18-202

参加



今井 吉清
(東京公演のみ参加)



角田 深優



結 貴



伊藤 菜生



並木 敏郎

一本刀土俵入

常陸の取手宿。汚れた単衣物一枚を身にまとい、空腹で足元もよろめく相撲の取的・駒形茂兵衛に、我孫子屋の二階から声をかけた酌婦・お鳶。

「おッ母さんの墓の前で、横綱の土俵入りが見せたい」という言葉を聞き、思わずホロリとしたお鳶は、茂兵衛に巾着の銭に櫛簪まで添えてやり、きつと横綱に出世しておくれと励ました。初めて身にしみた人の情に、「きつと横綱になって、姐さんにも土俵入りの姿をお目にかけます」と涙とともに誓う茂兵衛。

それから十年。みすばらしい取的姿とは打って変わり、志なかばで一本刀を抱く身となった颯爽たる茂兵衛は、十年前の礼を言うためにお鳶の行方を尋ねていた。
お鳶は、行方知れずの夫・船印彫師の辰三郎を待ちながら、貧しく暮していたが……。



【協力】喜楽會/宮城野部屋/東京宝映テレビ株式会社

〈次回公演〉平成23年11月 劇団若獅子錦秋公演

【特別出演】

再演決定!



神野 美咲 (女房小春)

【参加】



緒形 幹太

坂田三吉の生涯 三幕 玉将

吹けば飛ぶような 将棋の駒に 命を懸けた 男の一代記



笠原 章 (坂田三吉)

北條秀司 作・演出
北條美智留 監督
田中 林輔 演出



南條 瑠江

三越劇場(11月2日~9日)ほか各地にて公演計画中

チケットは優先予約方式にて販売 受付期間：1月11日~2月28日

チケットお申し込み方法：下記の郵便振替口座に料金振り込みで予約 (住所、氏名、電話番号、座席種別 [S・A・B席]、枚数を明記)。

チケット郵送希望の場合は、別途400円必要。

座席は抽選で決定。申し込み多数の場合には、希望座席にならない場合もあります。

その際には、差額は返却します。

また残席がある場合は一般販売 (販売プレイガイドは、ぎんざや、山陽新聞社サービスセンター等)。

当日券は、残席がある場合にのみ販売。

郵便振替 口座 01360-1-71823 名義 おかやま・歌舞伎・観る会